

事業所名

運動療育支援教室ほおずき

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

2024 年

9 月

24 日

法人（事業所）理念		えみがこぼれる家庭・・・それがわたしのほこりです												
支援方針		「集団の中で生きる力を身につける」をコンセプトに、コミュニケーション能力の改善、社会性の向上を図ります。 運動療育を通して、利用する子どもたちみんなが自信が持て、一つでもできる事が増えていくことを目標に、一人ひとりの目標に向けて5つの領域（「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」）から総合的に支援します。												
営業時間		平日	10	時	0	分から	19	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり	なし	
		学休日	9	時	0	分から	18	時	0	分まで				
		支 援 内 容												
本人支援	健康・生活	子どもが健康的で自立した安全な生活を送れるように支援を行います。健康な生活を送れることを目標に、本人が習得する必要があることなどの取り組みを行います。 ・子どもの小さな心身の変化を見逃さないよう見守り、健康状態を把握。 ・生活スキルを身につけるため、荷物を整理する、靴をそろえる、自分が使うものの準備をする、水分補給、衣類等を身につける。 ・部屋のレイアウトや掲示物の可視化、物の準備・片付け等空間の構造化、日常的な活動の中で、必要なスキルを身につけられるように環境を整える。												
	運動・感覚	感覚刺激を取り入れた手先の巧緻性や、サーキットトレーニングで身体を動かしバランス、体幹等を鍛えます。視覚、聴覚などの感覚の統合、協応運動等の向上にも取り組みます。 ・SAQトレーニングにて基礎運動能力を高め、目と身体の協応動作を養い、身体を動かす土台を整えていきます。 ・学校体育に準ずる運動を行います（マット運動、走運動、跳運動、ボール運動、表現運動等） ・ボディイメージ、基礎運動能力、目と身体の協応動作、自分をコントロールする力、身体を思い通りに動かす力、人に合わせる力、協力する力など												
	認知・行動	特性に合ったカリキュラム（脳トレ、コグトレ等）を使用し、認知機能を高めます。 ・活動内容など可視化し、目で見て理解しやすくしている。物や数の概念をつけさせる。 ・視知覚や視写で、視覚認知処理機能を養っていきます。 ・聞き取りや音読で聴覚認知処理機能を養っていきます。												
	言語 コミュニケーション	言語の発達に合わせたコミュニケーションの機会を通し、能力を高めていきます。 ・他者からの声に耳を傾ける、自らの声を他者にきちんと届ける手段を知る。 ・自己表現の機会により、表現方法の理解や他者に伝えるための方法等の理解に繋げる。 ・挨拶や日常会話を通して、コミュニケーションを図るとともに、ジェスチャーや身振り手振りなど非言語コミュニケーションでも相互理解を図ります。												
	人間関係 社会性	社会性や円滑な対人関係の発達を促す為の環境整備や関わりを行っています。 ・休み時間など他の利用者との遊びの時間を通して、ルールやマナー等の理解に繋げていきます。 ・集団活動において準備や片付けなどお互いに協力して行うために必要な声掛けなどの関わりを持てるように支援します。 ・公共施設等の使用によるマナーや、地域イベントを通じ、交流の機会を設けます。												
家族支援		送迎時に学校や家庭での様子等を共有する時間を設けます。また、連絡帳にて情報共有も行い、療育支援に活かしていきます。 定期的な面談や困りごと等の際の相談、面談の調整を行い、課題の抽出や支援の方法等話し合いを行います。									移行支援		同年代の子どもとの交流や地域との繋がり、ライフステージの切替え等を見据えた準備支援など、様子や支援の方法等の情報共有を行い、児童に合った対応方法等を共有します。	
地域支援・地域連携		事業所内での様子や出来事などについて、保護者が学校等や相談支援などの関係機関との情報共有を行います。									職員の質の向上		毎日の朝礼夕礼を行い、職員が利用児童に対しての同じように支援の共有ができるように情報共有しています。 職員研修を定期的に行い、専門性の向上、安全意識の向上等に繋がります。	
主な行事等		季節行事、外出の機会、社会体験等の機会を定期的に作り実施しています。												